

第2-15表 就労目的の入国が許可された外国人労働者（インフロー）¹⁾
Table 2-15: Inflow of foreign workers

		(千人/thousands)								
		2000年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
日本 ²⁾	JPN	129.9	125.4	81.4	77.9	72.1	57.1	52.5	51.7	63.5
ドイツ ³⁾	DEU	101.1	67.1	—	53.1	40.2	36.7	39.8	40.6	—
フランス ⁴⁾	FRA	14.4	19.8	21.5	27.5	33.7	28.0	—	—	—
(恒久的) ^{a)}		(6.9)	(9.4)	(10.9)	(17.6)	(23.8)	(22.5)	(22.9)	(24.1)	—
(一時的) ^{b)}		(7.5)	(10.4)	(10.7)	(9.9)	(9.9)	(5.5)	—	—	—
イギリス ⁵⁾	GBR	64.7	103.8	118.7	116.1	95.4	71.1	76.0	65.7	75.0
アメリカ ⁶⁾	USA									
(永住) ^{c)}		106.6	246.9	159.1	161.7	164.7	140.9	148.3	139.3	144.0
(一時滞在) ^{d)}		186.9	180.6	192.6	217.4	199.3	166.6	171.8	185.6	198.6

a) Permanent workers; b) Temporary workers; c) Permanent resident status; employment-based; d) Non-permanent status.

資料出所 各国注を参照。

(注) 1) 季節労働者は含まない。

2) 就労目的の在留資格を有する新規入国者。

資料出所: 法務省出入国管理統計

3) 新規に雇用承認が発給された者。EU市民も含む。

資料出所: 連邦雇用エージェンシー

4) 新規の労働許可取得者。上段は恒久的労働者と一時的労働者の合計。

資料出所: French Office for Immigration and Integration(OFIG), OECD *International Migration Outlook 2011*, OECD *International Migration Database*

5) 労働許可付与者。2002年以降は、高度人材移民プログラム(HSMP, 2002年1月開始)を含むが、2008年で終了。2009年以降は技能労働者(Tier2)に高度技能労働者(Tier1)の国外取得点を加えたもので、以前の集計方法と異なるため厳密には接続しない(参考: Tier1のうち国内在住者に対する許可件数は2012年…57,339件)。

資料出所: John Salt *Report of the UK SOPEMI Correspondent to the OECD* 各年版

6) 永住: 永住目的で入国する者のうち、雇用査証を発給された者。

一時滞在: 一時的滞在を目的として入国する者のうち、就労を目的とする者: 一時滞在査証(H, O, P, Q, R, NAFTAカテゴリー。但し、H2A(農業季節労働)、H2B・H2R(その他サービス臨時労働)及びH3(研修)区分、家族構成者への発給数を除く。)の発給総数。

資料出所: Office of Immigration Statistics, Homeland Security, *Yearbooks of Immigration Statistics* (永住), United States Department of State, *Reports of the VISA Office* (一時滞在)